

平成30年度 特別会計決算額

特別会計とは、特定の事業を行う場合に特定の収入を特定の支出にあて、一般会計とは別に収支経理を行うことです。平成30年度の特別会計決算額は、歳入19億9,370万円、歳出19億3,999万円です。詳しくは下記の表のとおりです。

●特別会計	単位：万円	歳入	歳出
国民健康保険		14億4,289	14億969
後期高齢者医療		2億9,453	2億8,987
診療所事業		1億553	9,812
井内地域開発事業		115	96
町営浄化槽整備推進事業		1億4,960	1億4,135
●水道事業特別会計			
水道収益的収支		4億6,674	3億9,373
水道資本的収支		3,500	1億5,473

●町の貯金と借金（平成30年度末）	単位：万円	
基金（貯金）	財政調整基金	20億8,035
	地域振興基金	11億3,964
	その他の一般会計基金	4億3,903
	特別会計基金合計	1億692
地方債等借金	基金合計	37億6,594
	一般会計	86億1,673
	水道事業特別会計	13億6,948
	町営浄化槽整備推進事業特別会計	2億3,532
地方債等合計		102億2,153



平成30年度決算報告 一般会計歳出額は

68億8,094万円

平成30年度一般会計・特別会計の決算が町議会9月定例会で承認されました。

当初予算66億2,348万円でスタートした平成30年度一般会計決算は、歳入が72億7,721万円、歳出は68億8,094万円。歳入から歳出を差し引くと3億9,627万円の黒字となりますが、令和元年度へ繰り越す事業に必要なお金が1億4,036万円あります。

すので、実質的な収支は2億5,591万円の黒字決算となり、そのうち1億3,000万円を財政調整基金に積み立てました。その他、特別会計においては左の表のとおりとなっています。

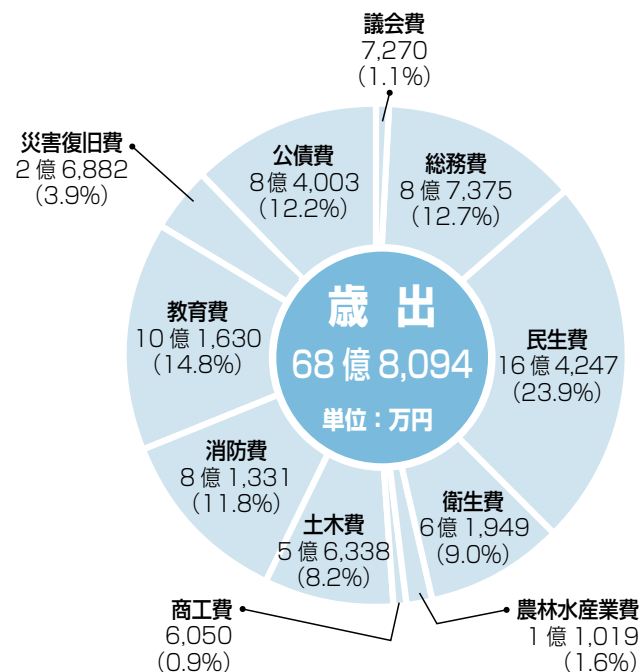
それでは、平成30年度の一般会計決算状況をお知らせします。（決算額は、千円単位を四捨五入しています。）

◆平成30年度の主なまちづくり事業

総務費	
町有林整備委託事業	286万円
お試し住宅関連事業	296万円
結婚新生活支援補助金事業	120万円
民生費	
紀宝町福祉センター設計監理委託事業	1,208万円
福祉医療費助成事業	7,560万円
学童保育運営委託事業	1,265万円
衛生費	
予防接種事業	2,775万円
健診事業・がん検診事業	1,312万円
環境測定委託事業	261万円
農林水産費	
団木造住宅建設促進対策事業	1,075万円
有害鳥獣駆除補助事業	360万円
新規就農者補助事業	375万円
商工費	
ウミガメ公園管理等委託事業	502万円
光の祭典 in 紀宝イベント業務補助事業	200万円
土木費	
道整備交付金事業	1億1,113万円
社会資本整備総合交付金事業	1億5,419万円
大里第一排水機場ポンプ取替事業	3,672万円
消防費	
成川地区高台整備事業	2,390万円
紀宝町新防災情報システム整備事業	4億4,184万円
紀宝町ハザードマップ作成委託事業	246万円
教育費	
鶴殿小学校大規模改修事業	2億1,401万円
紀宝町小学校空調設備設置工事設計監理委託事業	846万円
鶴殿運動場大規模改修事業	2億7,800万円

歳出

民生費が全体の23.9%
歳出は68億8,094万円となり、目的別経費で見ると、児童手当や福祉医療費助成制度などの民生費が歳出全体の23.9%を占める16億4,247万円でした。続いて多いのが鶴殿小学校大規模改修事業や鶴殿運動場大規模改修事業など大型事業のあった教育費で、14.8%、10億1,630万円となりました。



歳入

地方交付税が全体の38%
歳入は72億7,721万円となりました。歳入を町税や諸収入など町が自主的に確保することができると、地方交付税や国庫支出金などの依存財源が73.5%と全体の約3/4となっています。依存財源のうち、町債などが前年度より増額したため、依存財源の割合が1.1%上がっています。また、町税収入などの自主財源は26.5%で全体の約1/4となっています。自主財源の中で最も多いのが町税収入で、10億1,268万円。町民一人当たり9万2,566円（町税の総額を平成31年3月31日時点の人口で割ったもの）になります。

